

20. 大阪府てんかん地域診療連携体制整備事業 令和5年度の活動について

大阪大学医学部附属病院てんかんセンター
貴島 晴彦

まとめ

大阪府のてんかん地域診療体制拠点事業は令和元年7月8日に拠点病院として大阪大学医学部附属病院が指定され開始となった。令和4年度はこれまでの3年間の実績がみとめられ、継続して大阪大学医学部附属病院がてんかん地域診療体制拠点として大阪府から指定された。令和5年度も大阪府の特性を活かしたてんかん地域診療拠点体制を構築することを目指した。主な事業計画として、継続的な事業として啓発活動、教育、ネットワーク整備とした。また、府内でのコーディネーターの連絡網の整備、情報交換を実現することも計画した。これらは、特に地域での診療連携の向上に加えて、患者の利便性、さらに患者の社会資本の有効利用や社会参加につながるものである。

1. 概要

大阪府はてんかん地域診療体制拠点事業に参加している道府県の中では最も人口の密集している地域であり、日本で唯一いわゆる僻地が存在しない自治体であるとも言われている。また、てんかんを扱う医療施設も府内に点在している。そのため、本整備事業では協議会のメンバーが府内の複数の施設から参加している。また、それぞれの施設の診療内容、所在地や交通の面でも特徴がある。単一の施設のみでてんかんに関わる多くの問題解決を担う必要には迫られていない。しかし、キャリアオーバーに関わる問題については、十分に対応できておらず、この数年は本事業を通じて議論が行われている。特に令和6年度はこれまでの事業の継続した活動に加えて、**コーディネーター間のネットワーク形成**についても活動に盛り込んだ。

2. 大阪府のてんかん整備事業

2.1. 啓発活動、教育

医療従事者、関係機関職員、てんかん患者・家族などに対する研修

【大阪大学医学部附属病院てんかんセンター】

若手医師向けの Web コンテンツ公開 2022

「すべての医師に知って欲しい!てんかんの話」

(配信期間:2022年12月23日~2024年3月31日)

- ・小児てんかん診療入門
- ・成人のてんかん・診断編

若手医師向けの Web コンテンツ公開 2023

「小児てんかんの薬物治療 ABC」 (配信開始 2023年12月21日~)

講師: 下野 九理子 (大阪大学医学部附属病院・小児科)

「精神科医から見たてんかん診療について」 (配信開始 2023年12月21日~)

講師: 畑 真弘 (大阪大学医学部附属病院・神経科・精神科)

医療従事者向けてんかんセミナー2023

てんかん医療セミナー2023 (医療従事者向け) (2023年11月8日)

「物忘れを主訴に来院する扁桃体腫大を伴う側頭葉てんかん」

講師: 大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室 佐竹祐人先生

「多方面から考えた NPSLE によるてんかんの評価」

講師: 大阪大学大学院医学系研究科神経内科学講座 光吉礼人先生

特別講演「てんかん外科治療は小児発達を改善させ得るのか?」

講師: 国立病院機構長崎医療センター脳神経外科・てんかんセンター長 小野智憲先生

てんかん診療 Up Date seminar (2024年3月14日)

大阪府てんかん治療医療連携協議会の取り組み

大阪大学大学院 連合小児発達学研究所 准教授 下野 九理子 先生
てんかん治療 Up Date ～院内連携から地域連携を踏まえて～
近畿大学医学部 脳神経外科 准教授 中野 直樹 先生

【市立吹田市民病院】

第15回 Epilepsy Expert Meeting Web Seminar (2023年6月13日)

講演「脳神経内科医もであうかもしれない小児のてんかん症候群」
てんかん・神経 大阪南森町いけだクリニック 池田浩子先生

市立吹田市民病院主催市民公開講座 (2023年6月22日・吹田健都ライブラリー)

脳神経内科の扱う疾患「てんかんについて」 中野美佐先生

第16回 Epilepsy Expert Meeting Web Seminar (2023年12月12日)

講演「扁桃核腫大と自己免疫機序が介在するてんかん」
大阪市立総合医療センター 三枝隆博先生

【大阪市立総合医療センター】

こどものひきつけ (2023年9月3日) 大阪市立総合医療センター さくらホール

- 1 「てんかんの基礎知識」 小児脳神経内科 医長 福岡正隆
- 2 「てんかんと発達」 小児言語科 医長 温井めぐみ
- 3 「はたらく人とてんかん」 脳神経内科 部長 三枝隆博
- 4 てんかん外科を提案するにあたって 小児脳神経内科 医長 井上岳司
- 5 就労後にてんかん外科を決意するにあたって てんかん当事者
- 6 シンポジウム 「てんかん外科を考える」

薬剤師の為のてんかんマスター講座 (zoom) (2024年1月12日)

【大阪母子医療センター】

府民公開講座 第18回 光明池セミナー (2023年11月18日)

知っておきたい「てんかん」の基礎

【日本てんかん協会大阪府支部】

てんかん啓発イベント「パープルデー大阪」

2024年3月24日・大阪市立長居植物園と付属研修室)

【協議会主催】

大阪府てんかん治療医療連携の会

2024年2月29日(木) 19:00～21:00 大阪大学中之島センター

- 第一部：患者の立場から : 座長 貴島 晴彦
てんかん協会大阪府支部 畠山 浩一事務局長
患者会の現状や相談対応について
- 第二部：病診連携(医師): 座長 下野 九理子
各診療科の課題について発言いただき Discussion
小児科: 青天目 信, 精神科: 畑 真弘
脳外科: 中野 直樹, 神経内科: 中野 美佐
患者サポート (MSW): 座長 小西 直毅
てんかん患者サポートにおける課題
- 第三部：医師—MSW間の連携について: 座長 押野 悟

大阪府てんかん治療医療連携の会は今年度から企画した授業であり、医師、コーディネーター、パラメディカル、患者団体が一堂に会して、情報の共有を行うことを目的としている。

2.2. 患診療情報の共有と病院間ネットワークの形成

てんかん診療マップへ追加登録

大阪府下でのてんかん診療医療機関を周知し、患者が自らアクセスしやすくなることや、他院へ紹介する際の医療設備・診療内容を分かりやすく検索することができる様にてんかん診療マップを作成しており、アップデートを行った。

<https://www.hosp.med.osaka-u.ac.jp/home/epilepsy/search/>
診療マップ登録全件数 145 件

Nanacara for Doctor に「お知らせ（大阪府限定）」を作成し、随時講演会などの情報を取得できるシステムを構築した。



共通紹介状

共通フォーマットを元に各施設に合う形に修正した様式を使用しながら、HPにも案内を掲載し情報提供が必要な内容を紹介元のクリニック等に周知していく。

てんかん相談窓口

てんかん患者あるいは家族のための相談窓口をホームページ上に設置し運用を開始した。2020年9月より設置し、回答者は、大阪大学医学部附属病院てんかんセンターに所属する医師であるいは協議会のメンバーである。内容としては、現在の治療内容に関する質問、医療福祉サービスや受け入れ可能な病院の紹介、運転免許等に関する問い合わせがあった。本年度は2月末までに10件の相談を受け付け、適宜担当者から回答した。

3. 大阪府のてんかん医療体制における課題の抽出と共有

- 移行医療について、特に知的障害や身体障害がある合併症を持つてんかん患者について
20歳以上の受け皿について中継地点が不十分である。大阪府は移行期医療支援センターがあるが、ワンストップでの対応とその連携の構造化が必要。全国に移行期医療支援センターが7か所あり、大阪府では5年ほど前から移行期医療支援センターを大阪母子医療センターが担っているが、個別への対応は難しい状態である
 - てんかんと精神障害を同時に診療できるクリニックが少ない
 - 非てんかん性発作の対応
- PNESのための頻回な救急搬送が重なり、地域での医療を疲弊させることがある